

第3回特別支援教育の在り方に関する検討会（意見聴取）概要

日時：令和5（2023）年10月16日（月）

9:00～12:00

場所：栃木県庁本館6階大会議室2

1 保護者等からの意見聴取

本検討会の検討事項に関することについて、特別支援学校在校生保護者及び卒業生保護者計18名から、委員が直接意見を聴取した。

【主な意見】

（1） 幼児児童生徒の生活指導に関すること

① 生活指導全般について

- ・学校では、洗濯や簡単な調理等の指導をしてくれており、グループホームでも生活の支援をしてくれていた。学校における学習と共に、自宅でも子供ができることをやるのが大切である。
- ・自立には、自分からやろうとする気持ちと、相手を思いやる気持ちを育てることが大切である。
- ・訪問教育学級に在籍する子供については、障害の状態等に応じてスクーリングの回数を増やしてほしい。

② 寄宿舎について

- ・寄宿舎指導員は、子供の発達レベルに合わせ、工夫をしながら入浴、歯磨き、洗濯の仕方など、日常生活に必要なことを繰り返し教えてくれる。
- ・生活訓練施設を活用しても、学校の限られた時間とカリキュラムの中では、寄宿舎で得られるような生活の学びを身に付けることは困難である。
- ・養育が困難な家庭の子供に対し、在学中に学校、寄宿舎が連携して指導し、卒業後はグループホームで自立した生活を送りながら意欲的に就労施設で働いていると聞いている。
- ・ひとり親家庭では、思春期の我が子への対応に悩むことが多いが、寄宿舎指導員や舎監の先生方が父親、母親代わりとなってサポートしてくれる。
- ・寄宿舎では、学校教育とも連携して、友達との関わり方を学べる。寄宿舎の中に私たちが求める共生社会があると気付いたので、現時点での閉舎はあり得ない。
- ・学校での自立に向けた授業に加え、寄宿舎も利用できるのは、寄宿舎が設置されている学校に在籍しており、入舎要件に合う一部の子供のみであるため、不公平さを感じる。寄宿舎の有無に関わらず享受できる特別支援学校の教育の充実を願う。
- ・寄宿舎の存続を議論する前に、様々な障害のある子供のための教育環境を整えてほしい。
- ・寄宿舎でなければ自立できないという意見には疑問を感じる。家庭、教育、福祉の三者が連携すれば、寄宿舎がなくても自立できる。
- ・閉舎に反対する意見だけが目立つので、閉舎に異論のない保護者の意見もすくいあげてほしい。
- ・寄宿舎に関する課題を早く解決し、学校が教育活動に専念できるようにしてほしい。

(2) 家庭、教育及び福祉の連携に関すること

- ・卒業後の生活につなげられるよう、在学中から福祉事業所等との関係性を構築していくことが大切である。
- ・学校や障害福祉サービス事業所の支援者が、子供の特性や必要な支援を共有し、途切れずに支援ができるシステムを広げてほしい。
- ・障害児のショートステイを実施している障害福祉サービス事業所は限られていて、特別な事情がある家庭だけが優先して使える状態である。レスパイトとして使えるよう充実してほしい。
- ・医療的ケア児が使える障害福祉サービス事業所は、ショートステイはおろか、放課後等デイサービスもほぼない状態のため、充実してほしい。
- ・高等部卒業後に利用できる障害福祉サービス事業所が少ない。障害が重度の子供も含め、受入先を増やしてほしい。
- ・障害のある人がスポーツを楽しむことができるなど、余暇活動の場や情報があるとよい。
- ・保護者と教員が共に話し合える関係性が大切である。
- ・保護者同士が集まる機会があると、情報交換ができ、安心できるので、そうした機会がより増えるとよい。

(3) その他

① 通学について

- ・学校に送迎をしている保護者がいるが、兄弟姉妹の保育園への送迎が必要な方もいるので、スクールバスの拡充をしてほしい。

② 施設整備について

- ・食堂棟が狭く、老朽化している。全員が使用するものなので、アレルギー食等の対応がきちんとでき、子供や保護者にとって安心安全な食堂となるよう最優先に改修してほしい。
- ・知的障害の特別支援学校でも、車いすの子供が動きやすいよう、校舎のバリアフリー化などの対応を充実してほしい。

③ 医療的ケアについて

- ・医療的ケアが必要な子供について、保護者の付き添いを減らすことができるよう、学校看護師の配置など、必要な支援をしてほしい。

④ インクルーシブ教育システムについて

- ・障害のある子供と買い物をしている際、好奇の目を向けられることがある。障害のある子とない子が長期的に一緒にいることで理解が深まると思うので、居住地校交流の回数を増やし、継続的に実施してほしい。
- ・小学校や中学校等の授業の中で、いろいろな子供たちがいることを柔らかく伝えていくことも大切である。

2 次回検討会について

意見聴取終了後、委員から、特別支援学校の現状及び寄宿舎生の生活状況を確認するため、第4回検討会（現地確認）を実施してはどうかとの提案があり、実施することに決定した。

なお、第4回検討会については、学校運営に配慮する必要があることから、非公開で実施することとなった。